

○キンギンナスビのことども (久内清孝) K. HISAUCHI: A note on *Solanum aculeatissimum*.

余は近頃一般に用いられている書物にもとずきキンギンナスビの學名として *Solanum xanthocarpum* を用いたら牧野先生から *Solanum aculeatissimum* Jacq. (1786) = *S. xanthocarpum* Seem. (1865-73), non Schrad. et Wendl. が正しいと教えられたので、一應調べたら、全くそれが正しいことが判つたので、こゝに先生に感謝する。その序に先生は「回顧すれば私の少年時代、我が郷里なる土佐高岡郡佐川町へ行商植木屋が盆栽を賣りに來た時其の商人が之れを金銀ナスと云つていたので其名で之を呼び遂に其の通名になつた。然かし金銀ナスは其果實の未熟の時に付けた名で綠色に白斑があるからだが、赤熟すると金銀ナスビの名は不適で、赤玉ナスビと謂うべきだ」と申越された。これは私信ではあるが、渡來植物の史話だから、こゝに公表する。この草が歸化している土佐や、九州南部の方々には恐らく話題となることゝ信ずる。

○メアカンフスマの最初の採集者 (佐藤正己) M. M. SATO: Who is the first collector of *Arenaria merckiioides* Maxim.?

ナデシコ科の珍種メアカンフスマ (一名チョウカイフスマ) の最初の採集者に就いて、最近宮部金吾先生から御教示を戴いたので此處に紹介する。事の起りは筆者が近頃發表した「朝日・月山・鳥海の植物 (山形縣立農林専門學校研究報告第 1 號, 13-60 頁, 1949)」に誤つて川上瀧彌氏が最初に採集した様に記した爲である。

宮部先生から戴いた御訂正の御便りは次の通りであるが、御多忙の折に老先生を煩したことを御詫すると共に、古い時代の事を御教示下さつた御厚意に深く感謝の意を表する次第である。

メアカンフスマの記事の内 (50 頁) に「矢田部氏はこれを川上瀧彌氏が北海道の雌阿寒岳で發見し、Maximowicz 氏によつて *Arenaria merckiioides* Maxim. と命名云々」とありますが、あれは 1885 年 (明治 18 年) に私の同期生の藤田九三郎氏が採集して呉れたものを M 氏へ送つたのであります。川上瀧彌君が私共の處へ來て卒業されたのは明治 33 年です。」